

能代市高齢者福祉計画・ 第7期介護保険事業計画

令和元年度事業評価

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	I 高齢者の積極的な社会参加
------	----------------

現状と課題

活力ある高齢社会の実現に向け、高齢者の積極的な社会参加を進めています。

○生きがいづくり活動等の支援の充実

老人クラブ社会活動促進事業、敬老会、青空デイサービス事業、
地域福祉活動補助事業（ボランティア団体等）

○生涯学習の充実

保坂福祉学園、松寿大学等

○高齢者就業の支援

シルバー人材センターへの助成と運営支援

○地域活動参加促進のための環境整備

課題は、老人クラブ会員数の減少や高齢者が積極的に社会参加できる環境整備の充実です。

第7期における具体的な取組

老人クラブ連合会等と連携を図りながら、高齢者の社会参加の取組を支援しました。保坂福祉学園、健康づくりスポーツ大会等を老人クラブ連合会に委託しております。保坂福祉学園では、健康ヨガ教室、卓球教室、しなやか教室等10講座を開講しています。参加者から好評を得ております。

目標（事業内容、指標等）

※能代市総合計画 実施計画 KPI より

項目	令和元年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	目標値	実績値	評価	実績値	評価	実績値	評価
高齢者の生きがいと健康づくり事業参加者	5,000人	4,997人	順調	5,009人	順調	4,739人	不調

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・参加者人数

取組と目標に対する自己評価シート
(I 高齢者の積極的な社会参加の取組)

年度	令和元年度
----	-------

実績評価

実施内容						
<p>高齢者の社会参加に向けた環境整備に取り組みました。 各事業の実施により、高齢者の生きがいつくりの支援等を行いました。</p>						
自己評価結果						
<p>【×】 理由：目標値を下回りました。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>目標値</td> <td>参加人数</td> <td>5,000人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>実績値</td> <td>4,739人</td> </tr> </table> <p>(参考 P20～P22)</p>	目標値	参加人数	5,000人	令和元年度	実績値	4,739人
目標値	参加人数	5,000人				
令和元年度	実績値	4,739人				
課題と対応策						
<p>○令和元年度は令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染予防のため、保坂福祉学園の各教室が開催できませんでした。</p> <p>○参加者の裾野を広げ、より多くの一般高齢者に利用されるよう、老人クラブ連合会と連携を図りながら、事業を展開します。</p> <p>○講座内容のブラッシュアップを図ります。</p>						

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	Ⅱ 自立生活の支援
------	-----------

現状と課題

- 高齢者福祉サービスの提供により、在宅生活を続けるための支援を行っています。
- 養護が必要な高齢者の居住のため養護老人ホームや憩や研修などの場のための老人憩の家等福祉施設があります。

高齢者福祉サービスを必要とされる方へ適切にサービスが利用いただけるよう、地域や地域包括支援センターとの連携を図ることが求められております。

第7期における具体的な取組

在宅生活を続けるため、高齢者住宅改修事業、軽度生活支援事業、緊急通報装置・ふれあい安心電話事業等の高齢者福祉サービスを提供しています。

養護老人ホーム「松籟荘」、生活支援ハウスにより在宅生活が困難な高齢者に居住の場を提供しているほか、老人憩いの家「白濤亭」、保坂福祉会館松寿園、高齢者友愛センター、高齢者ふれあい交流施設「ゆっちゃん」等福祉施設の充実を図っています。

目標（事業内容、指標等）

各種事業を継続的に実施します。制度を維持し自立生活の支援を行います。
福祉施設を適正に管理維持します。

軽度生活援助事業	平成29年度	平成30年度	令和元年度
交付世帯数	1,981 世帯	1,962 世帯	1,865 世帯
利用数（件数）	11,284 件	10,528 件	9,494 件

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・ 利用実績（交付者数、利用枚数）

取組と目標に対する自己評価シート
(Ⅱ 自立生活の支援)

年度	令和元年度
----	-------

実績評価

実施内容
各事業とも継続して実施しております（事業実績は別添を参照）。
自己評価結果
【○】 理由：高齢者福祉サービスの各事業とも継続しております。 福祉施設を適正に管理維持しております。 苦情等はありません。 （参考P23～P26）
課題と対応策
○各事業を維持していくことが求められています。 ○一般高齢者等の福祉サービスのニーズ調査と制度設計の検討（8期計画のニーズ調査）を行います。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	Ⅲ① 介護予防等の推進
現状と課題	
<p>能代市の人口推計では、前期・後期高齢者とも増加傾向であることから、今後、高齢化の進行はまだ進むと考えられています。</p> <p>基本チェックリストの実施により、要支援・要介護状態になるリスクの高い高齢者を把握し、健康教室等の介護予防事業へつなげております。しかし、教室終了後のサークル結成には至っておらず、また、自由に集える通いの場の把握が進んでおりません。</p> <p>自立高齢者を増やすためには、介護予防教室の新規参加者を増やしていくとともに、教室修了者へ自主サークル結成への働きかけ、また、通いの場を把握し、高齢者が自由に参加できる場の情報提供が課題となっています。</p>	
第7期における具体的な取組	
<p>各地域包括支援センターにて介護予防教室（3ヶ月間の短期集中型）と一般介護予防教室を開催しました。他、運動器機能向上教室（3ヶ月間の短期集中型）を公募にて事業者を選定し、開催しました。</p>	
目標（事業内容、指標等）	
<p>自立高齢者の割合の増加を目指します。</p> <p>（全高齢者のうち認定者を除いた者の率） 令和元年度 79.5%</p>	
目標の評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ● 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> 講座の実施内容、自立高齢者率により評価します。 	

取組と目標に対する自己評価シート
 (Ⅲ① 介護予防等の推進)

年度	令和元年度
----	-------

実績評価

実施内容
○一般介護予防教室：251回、4,326人 ○通所型サービスC：129回、865人
自己評価結果
【△】 理由：介護予防教室は地域への出前開催も併用しており、住民参加の利便性を高めました。 しかし、自主グループの結成には至っておらず、自立高齢者数も微減となっています。(令和元年度 78.8%)
課題と対応策
○教室修了者を自主グループへ移行し、仲間づくりや生きがいづくりへつなげる必要があります。 ○住民主体の通いの場の把握が進んでいないため、状況を把握します。 ○高齢者自身も地域で役割を持ちながら社会参加することができるように体制を整備していきます。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	Ⅲ② 介護予防等の推進
現状と課題	
<p>本市の人口は年々減少傾向にありますが、高齢者人口は増加傾向にあり、特に65～74歳の前期高齢者人口が増加しています。これに伴い要支援・要介護者認定者数も増加傾向にあり、要介護度別では要介護5が減少しているものの、要介護1から4までは増加しています。</p> <p>市では、自立高齢者の割合の増加を目標に取り組むこととしていますが、特に要支援・要介護認定者の増加を防ぐための介護予防等、高齢者への各種施策が重要と考えています。</p>	
第7期における具体的な取組	
<p>市独自の取組として、比較的軽易な農作業を体験してもらい、閉じこもりを防止し、生きがいと健康づくりや交流の場を提供する「青空デイサービス事業」を実施しています。</p>	
目標（事業内容、指標等）	
<p>○青空デイサービス事業</p> <p>目 標：参加者 40人（能代地域20名／ニツ井地域20名）</p> <p>回 数：地域別各12回程度（5月～11月まで、月1、2回程度）</p>	
目標の評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ● 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> 年度末時点で能代・ニツ井の各地域ごとの実施回数、会員数、延べ参加人数 	

取組と目標に対する自己評価シート
 (Ⅲ② 介護予防等の推進)

年度	令和元年度
----	-------

実績評価

実施内容	
<p>内 容：午前中、軽易な農作業を行い、午後から健康管理などの講座や軽運動を行う。 11月には収穫した野菜を使った調理実習やそば打ち体験を実施。 対象者：要介護・要支援と認定されていない65歳以上の方</p>	
自己評価結果	
<p>【○】 理由：能代地域28人、二ツ井地域12人、計40人と目標を達成しました。 ○能代地域 13回実施し、会員数28人、延べ253人が参加した。 ○二ツ井地域 13回実施し、会員数12人、延べ91人が参加した。</p>	
課題と対応策	
<p>全体では順調に推移しており、現状を維持したいと考えています。 二ツ井地域については、事業周知の強化や企画の充実化を図り、参加者を増やすことが求められます。能代地域と二ツ井地域と統合することも考えられますが、その場合、現場までの送迎や利用者の安全管理（目が届かない）など管理すべき人数が多くなることから、事業に支障を及ぼすことも考えられます。</p>	

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	Ⅳ 在宅介護サービスの基盤整備
現状と課題	
<p>高齢者の増加とともに、要介護認定者数や介護サービス利用者数は増加傾向にあります。中重度への移行を抑えること、中重度になっても、住み慣れた自宅等で生活できるような整備が必要です。</p>	
第7期における具体的な取組	
<p>○中重度への移行を抑えるため、効果的な介護予防サービスが提供されるよう、地域包括支援センターにおいて適切な介護予防プランの作成に努めます。マネジメントの実行に当たっては、要支援者やその家族、サービス提供事業者と自立支援の理念や介護予防の重要性を共有するため、さまざまな機会を捉え啓発・連携を図ります。</p> <p>○中重度になっても、住み慣れた自宅等において生活できるよう6期計画中に特定施設入居者生活介護の整備をしております。</p> <p>今期計画中には、国が勧めている定期巡回・随時対応型訪問介護看護や看護小規模多機能型居宅介護などについて、ニーズやサービス提供者の実態等を把握しながら、8期計画に向けて基盤整備の必要性について検討します。</p>	
目標（事業内容、指標等）	
<p>給付費計画見込額</p> <p>（平成30年度） 7,156,000,000円</p> <p>（令和1年度） 7,457,000,000円</p> <p>（令和2年度） 7,951,000,000円</p>	
目標の評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ● 評価の方法 <p>計画における見込額に対するサービス利用の実績。</p> 	

取組と目標に対する自己評価シート
 (Ⅳ 在宅介護サービスの基盤整備)

年度	令和元年度
----	-------

実績評価

実施内容	
<p>(令和元年度)</p> <p>計画見込額 7,457,000,000 円</p> <p>決算見込額 7,106,207,165 円 (計画見込額の 95.3%)</p> <p>計画内の実績となる見込みです。</p> <p>計画に対し、給付費ベースで比較的大きく増加しているのは、居宅介護サービス費の通所リハビリテーション、居宅療養管理指導、特定施設入居者生活介護、施設介護サービス費の介護老人福祉施設サービスです。退院後、リハビリテーションを行うことで機能回復を図ることができることから、利用者が増えているものと考えられます。また、特定施設入居者生活介護については、29年度に受入れを開始後、徐々に増えてきたものと考えられます。</p>	
自己評価結果	
<p>【○】</p> <p>理由：計画内の実績となる見込みです。</p> <p>(参考 P27～P28)</p>	
課題と対応策	
<p>30年度と比較すると利用件数ベースでも、施設介護サービス以外は、ほとんどのサービスで増えています。今後、サービスの過不足状況について確認しながら、必要なサービスを提供できるよう整備していく必要があります。</p>	

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	V 在宅介護サービスの質的向上
------	-----------------

現状と課題

高齢者の増加とともに、要介護認定者数や介護サービス利用者数は増加傾向にあります。また、介護サービス事業者の増加により、介護に従事する職員の不足等からサービスの質の低下が懸念されます。

第7期における具体的な取組

- 介護従事者の人材確保及び資質の向上
（ケアマネジャーの資質の向上に向けた研修会、人材確保にかかる県との連携）
- 介護事業者に対する指導監督等
（実地指導、集団指導等による情報共有、サービスの質の向上、業務の効率化）
- 介護給付の適正化等による介護保険制度の円滑な運用
- 在宅ケアの推進等
（医療との連携を深めながら在宅での生活支援に努めます。また、虐待・身体拘束を防止し、高齢者の人格と尊厳を守ります。）

目標（事業内容、指標等）

給付の適正化を図るため、以下の5つの指標を掲げて取り組みます。

目 標

- 要介護認定の適正化

直営調査員研修	月1回実施
委託調査の点検（書面）	全件数
委託調査の点検（訪問）	2施設
- ケアプランの点検
年間30件以上
- 住宅改修等の点検

住宅改修の点検	年間10件以上
福祉用具購入・貸与に関する調査	年間10件以上
- 短期入所生活介護利用超過届出書の提出率
80%
- 介護給付費通知
年2回送付

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
目標に対する元年度の実績により評価します。

取組と目標に対する自己評価シート
 (V 在宅介護サービスの質的向上)

年度	令和元年度
----	-------

実績評価

実施内容		
適正化を図るため、計画的に事業を実施するよう努めました。		
	目 標	実 績
○要介護認定の適正化		
直営調査員研修	月 1 回実施	月 1 回実施
委託調査の点検 (書面)	全件数	325 件 (全件数)
委託調査の点検 (訪問)	2 施設	2 施設
○ケアプランの点検	年間 30 件以上	年間 30 件
○住宅改修等の点検		
住宅改修の点検	年間 10 件以上	年間 10 件
福祉用具購入・貸与に関する調査	年間 10 件以上	年間 10 件
○短期入所生活介護利用超過届出書の提出率	80%	87.64% (令和 2 年 1 月認定終了分まで)
○介護給付費通知	年 2 回送付	年 2 回送付
自己評価結果		
【○】		
理由：各事業において、計画的に進め目標を達成しました。		
課題と対応策		
令和元年度、事業所職員の知識、質的向上を高めるため、各事業を実施するとともに、新たに市指定の事業所を対象とした研修会を開催しました。		
令和 2 年度においても同様に開催、継続していくことで、さらなる向上を図っていきたいと考えています。		

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	VI 施設介護サービスの基盤整備
現状と課題	
<p>施設サービスの利用者数はやや減少傾向にあり、6期計画中に受け入れ体制は充実していますが、特別養護老人ホームへの入所待機者が相当数いる事や、在宅介護実態調査で把握した在宅介護者の潜在的ニーズに留意し、適正規模でのサービス提供を図る必要があります。</p> <p>特に、市内にある特養のうち、「海潮園」が令和3年度、「長寿園」が同9年度に廃止予定であり、代替施設整備について検討する必要があります。</p>	
第7期における具体的な取組	
<p>「海潮園」に代わる特養施設について、プロポーザル形式による公募、審査を経て平成31年2月に事業予定者を選定しました。</p> <p>事業予定者が社会福祉法人を新設し、その後の施設建設となるため、県と市で行われる施設整備計画、法人設立の許認可手続きについて、遅滞無くすすめる必要があります。</p> <p>施設整備計画、法人設立の許認可手続きに関する審査内容には共通する部分もあるため、県と市が連携、情報を共有しながら調整、支援を行います。</p>	
目標（事業内容、指標等）	
<p>○県による「社会福祉施設整備計画（介護関連施設）に係る審査」で本計画の採択を得ます。</p> <p>○市による「社会福祉法人設立認可等審査会」で認可を得ます。</p>	
目標の評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ● 評価の方法 <p>それぞれの審査会の結果と、市による調整、支援が適切であったかも含め評価します。</p> 	

取組と目標に対する自己評価シート
(VI 施設介護サービスの基盤整備)

年度	令和元年度
----	-------

実績評価

実施内容
令和元年5月に事業予定者、県、市で協議を行いました。 県と市で認可事務を行います、基本的に窓口を市に一本化し、市と県が連携し手続きをすすめてきました。
自己評価結果
【○】 理由：市への窓口の一本化、申請書類や資料を県と市で共用する等、事業予定者の手間を省くための支援が、一方で県と市の連携、情報共有を深めることとなり、円滑な事務手続きに繋がったと考えられます。 県による「社会福祉施設整備計画（介護関連施設）に係る審査」と、市による「社会福祉法人設立認可等審査会」いずれも採択、認可されました。
課題と対応策
着工に向けた住民説明会や、海潮園入所者、職員の円滑な移行が課題となります。 開設に向けた準備を行うにあたり、実施主体として新設された社会福祉法人への支援や、法人と「海潮園」「能代山本広域市町村圏組合」との調整を行います。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	Ⅶ 施設介護サービスの質的向上
現状と課題	
<p>研修に関する情報提供や、地域密着型サービス事業者の指導監督等によりサービスの向上を促していますが、今後は施設介護サービスにおける個室ユニットケアを推進する必要があります。また、介護従事者の人材確保の取組強化が必要と考えます。</p>	
第7期における具体的な取組	
<p>○介護従事者の人材確保及び資質の向上 （研修に関する情報提供、人材確保にかかる県との連携）</p> <p>○介護事業者の指導監督等 （実地指導、集団指導等による情報共有、情報収集等による実態の把握）</p> <p>○個室ユニットケアの推進等 （個室ユニットケアの推進、低所得者への配慮として多床室の必要性を含めた施設整備のあり方の検討等）</p>	
目標（事業内容、指標等）	
<p>上記取組の実施。 ※指標等の設定はありません。</p>	
目標の評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ● 評価の方法 <p>取組の実施状況により評価する。</p> 	

取組と目標に対する自己評価シート
 (Ⅶ 施設介護サービスの質的向上)

年度	令和元年度
----	-------

実績評価

実施内容
<p>○研修に関する情報提供を随時行ったほか、地域密着型サービス事業所の職員については、計画的に研修に参加しました。</p> <p>○地域密着型サービス事業所の実地指導及び集団指導を計画的に実施したほか、地域密着型に関わらず、事故報告で問題があると判断された施設についても訪問のうえ事実確認と必要な指導を行いました。</p> <p>○運営推進会議への職員の派遣により、施設の実態把握に努めました。</p> <p>○「海潮園」に代わる特養整備については、現在の入所者の大部分が低所得者であることに配慮し、「多床室」と「ユニット」の混合型の施設としました。</p>
自己評価結果
<p>【△】</p> <p>理由：介護人材の不足の声が聞かれるなか、計画では人材確保に関して「県が策定する介護保険事業計画と連携を図る」ことを取組として掲げていますが、具体的な事業の展開には至っていません。</p>
課題と対応策
<p>人材確保への取組の検討について、県との連携のほか、市独自の取組を推進する必要もあると考えます。</p> <p>地域の実態に即した効果的な取組について、サービス事業所への調査や情報収集を行い、研究を進めます。また、市の他部局との連携について検討します。</p>

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	VIII 地域包括ケアシステムの構築
現状と課題	
<p>医療と介護連携について顔の見える関係ができ、情報連携ツールの整備や多職種による事例検討会の開催等、取り組みができました。</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で暮らし続け、地域での支えあいを推進していくため、市の通りの場の把握、地域資源の発掘・開発が課題となっています。</p>	
第7期における具体的な取組	
<p>○日常生活圏域の設定と環境整備 4か所の地域包括支援センターがきめ細かく相談や訪問、介護予防教室等を行います。</p> <p>○地域包括支援センターの適切な運営・評価 国の評価基準に沿って事業評価を行い、課題整理を行います。</p> <p>○地域ケア会議の推進 各地域包括支援センターごとに、地域ケア個別会議を開催し、理学療法士等、他職種と協働で困難事例の解決につなげます。</p> <p>○在宅・医療介護連携の推進 病院連携室や、周辺町との連携会議。ワーキンググループによる具体策の検討・実施。</p> <p>○認知症施策の推進 認知症初期集中支援チームの活動。認知症家族会の開催。認知症カフェ、認知症サポーター養成講座の開催。</p> <p>○生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進 地域に住む高齢者ニーズを把握し、地域資源の発掘・開発を行います。</p>	
目標（事業内容、指標等）	
<p>○4か所の地域包括支援センターを委託し、事業評価を行い課題の整理をします。</p> <p>○地域ケア会議実施回数 12回</p> <p>○医療・介護の連携を一体的に提供するため、関係機関と連携を強化します。</p> <p>○認知症初期集中支援チームの支援体制整備</p> <p>○第1層協議会・第2層協議体の立ち上げ</p>	
目標の評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 中間見直しあり <input checked="" type="checkbox"/> 実績評価のみ ● 評価の方法 	

取組と目標に対する自己評価シート
 (Ⅷ 地域包括ケアシステムの構築)

年度	令和元年度
----	-------

実績評価

実施内容
<p>○4か所の地域包括支援センターを委託し、事業評価を行い課題の整理をしました。</p> <p>○地域ケア会議実施回数 平成30年度8回 → 令和元年度13回</p> <p>○医療・介護連携として、近隣の町、各病院連携室と各事業者によるワーキンググループを開催しました。情報連携ツールとして入院時情報提供書を作成しました。</p> <p>○認知症チーム検討会議に地域の実状を報告し、委員と情報共有しました。</p> <p>○生活支援体制整備事業では、第1層協議会で学習会を開催しました。</p>
自己評価結果
<p>【○】</p> <p>理由：医療・介護連携のワーキンググループの活動として、圏域を同じくする町や病院連携室・介護事業所の介護支援専門員等と連携し、情報共有ツールを作成できました。</p> <p>生活支援体制整備事業で、1層協議会の委員による勉強会の開催機運を醸成することができました。</p>
課題と対応策
<p>医療介護連携により入院時の連携ツールは作成できました。今後普及を含め、退院時の体制等含め連携ツールの開発に取り組みを進めます。</p> <p>地域での助け合いについて事業周知が進んでいない課題があります。第2層協議体の設置に向け住民主体の通いの場や生活支援ニーズ等を把握し、地域の多様な主体による支援体制を整備していきます。</p>

高齢者 生涯学習関連事業実績

担当	事業名	主な内容・ねらい	H29	H30	R1	R1 成果	課題
長寿いきがい課 89-2156	松寿大学 (二ツ井地域)	講演会4回、 卒・終業式1回	499人	195人	441人	講演会を楽しみに参加し、外出の機会創出につながっている。	二ツ井地域の老人クラブ会員で組織する団体等へ委託することを検討中である。
	趣味講座 (保坂福祉学園)	様々な教室等を開催することにより、高齢者の引きこもり防止及び生きがいづくり、交流の場を提供する。	2,509人	2,301人	2,900人	各講座を楽しみに参加し、外出機会が創出されている。	継続的に開催し参加している講座が多いが、新規の参加を促していきたい。
	社会参加活動 講演会	高齢化社会における元気な高齢者の役割を認識することで、今後の社会活動のあり方を勉強する会を設ける	160人	148人	-	R1コロナ感染対策のため3月開催予定中止	
	健康づくりス ポーツ大会	高齢者がスポーツを通じて親睦を深めるとともに、高齢者の生きがいと健康づくりを推進する	585人	535人	441人	運動不足を解消する機会が創出されている。	年々、運動に参加する高齢者が減少し、観戦者が増えている。
	高齢者芸能発 表の集い	日頃生きがい活動をしている高齢者の方々に発表の場を提供し、また同じ高齢者の方々が発表を見ることにより、生きがいと福祉の増進を図る	887人	742人	615人	発表する機会を設けることで、より一層活動に積極的になれる。また来場し観賞することで、サークルなどに参加する方がいる。	発表のための活動がメインになりつつある。
	いきいきふれ 愛の集い	単位クラブ会員の芸能発表、趣味作品展示、踊り師匠一門による芸能発表、特別出演者公演	357人	393人	377人	単位老人クラブや協力団体の芸能発表、趣味作品展示により、高齢者の生きがいづくり、また交流の場を提供できた。	二ツ井地域の老人クラブ会員で組織する団体等へ委託することを検討中である。
東部公民館 58-3100	扇洲寿大学	高齢者の学習グループを育成し、生きがいを持って社会での役割などについて学び、健康維持や積極的な社会参加を促す学習の拡充を図る	271人	194人	226人	施設見学会、スポーツ体験、学習会等、毎回30人前後の参加があり順調であった。	新規加入者の不足、会員の高齢化による参加者数の減少が課題。
鶴形公民館 58-3211	鶴形寿大学		100人	88人	106人	年齢の割りに若々しい者が多く、活気がある。内容は、概ね好評であった。	会員が高齢化しており、新規会員の開拓が課題である。
檜山公民館 58-3101	檜山寿大学		137人	124人	154人	施設見学会、折り紙講座、学習会等、多様な講座内容に、受講生にはとても好評であった。	受講生の大半が継続者であり、新規加入者の獲得が必要である。

南部公民館 89-2324	南部寿大学		115人	95人	117人	「特殊詐欺防 止」や「高齢者 の交通安全」な どタイムリーな 学習会を開催し たため受講生に は好評であっ た。	受講生は36人い るが、参加者が少 ない学習会もあっ た。興味を引くよ うな魅力ある題材 を模索したい。	
向能代公民館 52-6318	向能代寿大学		495人	364人	499人	学習内容につい ては、満足され ているようだ。	登録者を先着60 人にしてしたが、 今年度70人にな ってしまい、運 営が大変だった。	
常盤小学校地域 連携施設 59-2111	常盤寿大学	高齢者の学習グ ループを育成し、 生きがいを持って 社会での役割など について学び、健 康維持や積極的な 社会参加を促す学 習の拡充を図る	250人	159人	99人	講座内容につい て、館外学習や 体力づくりなど 参加者の希望も 取り入れた内容 としたことから 好評を得たと 思っている。	参加者が固定化し ている傾向にあ る。内容について も興味が掻き立 てられるものの選 択に努め、新たな 参加者の広がりを 図っていきたい。	
二ツ井図書館 88-8853	出前おはなし 会	依頼のあった学校 や施設へおはなし や朗読の「出前」 をする				実績なし	特になし	図書館報に掲載 し、施設等へ周知 を行う
中央公民館 54-8141 ※指定管理者能 代市芸術文化協 会 54-9298	中央寿大学	高齢者の学習グ ループを育成し、 生きがいを持って 社会での役割など について学び、健 康維持や積極的な 社会参加を促す学 習の拡充を図る	332人	321人	318人	活動日誌から も、各活動が高 齢者の生きがい につながっている	受講者の超高齢化	
能代図書館 54-1114 ※指定管理者図 書館流通セン ター	出前おはなし 会	依頼のあった学校 や施設へおはなし や朗読の「出前」 をする	22人	37人	58人	保坂会館の協力 にて3回実施及 び檜山公民館で の開催、次年度 も継続。	ボランティアとの 連携と深耕	
指定管理者能代 市体育協会 54-3607	シルバース ポーツの日	60歳以上の市民 を対象に、気軽に 楽しめるニュース ポーツ等を実施す る。	2,104人	1,858人	1,722人	気軽に楽しめる スポーツの場と して、毎回笑顔 で元気に活動し 仲間づくりや健 康づくりに役立 ててもらうこと ができた。	新しい種目やレク リエーションを取 り入れていきだ い。	
	健康教室・健 脚度測定	おおむね60歳以 上の高齢者を対象 に、自分の脚の状 態を把握し、転 倒・寝たきり予防 を図る。	10人	-	87人	身体的に弱い部 分と強い部分 を知ってもらい今 後の運動習慣に 結び付けること ができた。	今後も自身を体 を知ることで、健 康づくりに結び つけていきたい。	
能代市ボラン ティアセンター 二ツ井支所 73-3801	高齢者料理教 室 (二ツ井地区)	調理の楽しさを実 感し偏った食生活 の改善と自立した 生活を送ることを 目的として開催す る	-	19人	42人	参加者同士の交 流を図りなが ら、調理方法や 高齢者に必要な 栄養素を学ぶこ とができた。	好評を得ているた め、今後も継続し ていく。	
		計	8,833人	7,586人	8,215人			

I 高齢者の積極的な社会参加

(1) 生きがいづくり活動等の支援の充実

①老人クラブ社会活動促進事業

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
クラブ数	58 クラブ	58 クラブ	53 クラブ
加入者数	1,991 人	1,942 人	1,805 人

②敬老会 ※敬老の日開催

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
参加者	212 人	195 人	177 人

③青空デイサービス事業 5月～11月まで隔週で開催 【地域支援事業】

	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	実施回数	登録者	実施回数	登録者	実施回数	登録者
能代地域	12 回	29 人	13 回	33 人	13 回	28 人
二ツ井地域	14 回	6 人	12 回	6 人	13 回	12 人

④福祉基金事業 (のしろであいのコンサート事業、地域高齢者お楽しみ会事業等)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
交付団体数	6 団体	6 団体	5 団体
交付済額	2,054 千円	2,299 千円	1,916 千円

(2) 生涯学習の充実

	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数
○保坂福祉学園	134 回	2,509 人	163 回	2,736 人	148 回	2,865 人
☆松寿大学	5 回	499 人	5 回	455 人	5 回	441 人
○社会参加活動講演会	1 回	160 人	1 回	148 人	0 回	0 人
○健康づくりスポーツ大会	1 回	585 人	1 回	535 人	1 回	441 人
○高齢者芸能発表の集い	1 回	887 人	1 回	742 人	1 回	615 人
☆いきいきふれ愛の集い	1 回	357 人	1 回	393 人	1 回	377 人
計	143 回	4,997 人	172 回	5,009 人	156 回	4,739 人

※○能代地域、☆二ツ井地域

■シルバー人材センターの運営状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
登録会員数	303 人	321 人	324 人
男性	237 人	252 人	259 人
女性	66 人	69 人	65 人
助成額	8,000 千円	8,000 千円	8,000 千円

※情報出典：商工港湾課

施策Ⅱ 自立生活の支援

(1) 在宅生活を続けるための支援の充実等

①高齢者住宅改修助成事業の助成状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
件数	8 件	9 件	4 件
助成額	337 千円	175 千円	205 千円

②軽度生活援助事業

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
交付世帯数	1,981 人	1,962 人	1,865 人
利用数(枚数)	11,284 枚	10,528 枚	9,494 枚

③緊急通報装置・ふれあい安心電話事業

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数 (設置台数)	368 人	348 人	320 人
非常、相談件数	14 件、374 件	13 件、402 件	13 件、262 件
ふれあいコール数	13,808 件	13,695 件	13,078 件

④訪問理容サービス事業

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数	55 人	48 人	52 人
利用数(枚数)	161 枚	142 枚	149 枚

⑤高齢者外出支援サービス事業

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ利用者数	850 人	684 人	609 人

⑥家族介護用品支給事業【地域支援事業】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数	1,308 人	1,389 人	1,477 人
利用数(枚数)	11,341 枚	11,753 枚	12,338 枚

⑦食の自立支援事業及び地域自立生活支援事業(配食サービス)【地域支援事業】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用実人数	153 人	159 人	151 人
延べ配食数	16,692 食	17,020 食	15,979 食

⑧はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数	119 人	121 人	121 人
利用枚数	830 枚	813 枚	861 枚

⑨元気・交流 200 円バス事業

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
交付者数	5,287 人	4,822 人	5,025 人

⑩百歳長寿祝事業

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
事業対象者数	14 人	14 人	23 人

⑪高齢者のみの世帯等の雪下ろし支援

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
助成件数	5 件	8 件	0 件

⑫生活管理指導短期宿泊事業

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ利用人数	3 人	3 人	1 人
利用延べ日数	28 日	15 日	3 日

⑬高齢者緊急一時保護事業

	平成 30 年度	令和元年度
延べ利用人数	2 人	4 人

※平成 30 年度事業開始

⑭高齢者買い物優待事業

	平成 30 年度	令和元年度
協賛店舗数	23 事業所	24 事業所

※平成 30 年度事業開始

(2) 福祉施設等の整備の推進等

① 養護老人ホーム 措置人員の状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
松籟荘	67 人	70 人	70 人
能代市	62 人	66 人	67 人
市外	5 人	4 人	3 人
松峰園 (秋田市)	1 人	0 人	0 人
樹園 (男鹿市)	0 人	1 人	1 人
やまもと (三種町)	1 人	1 人	1 人
聖ヨゼフホーム (奈良県御所市)	1 人	1 人	1 人
津軽ひかり荘 (青森県弘前市)	1 人	1 人	1 人

② 老人憩の家 (白濤亭)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ利用者数	15,844 人	16,176 人	15,938 人
1 日平均の利用者数	52.5 人	53.2 人	52.1 人

③ 保坂福祉会館松寿園

■ 松寿園の利用状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ利用者数	8,844 人	9,658 人	9,432 人
1 日平均の利用者数	28.8 人	31.5 人	30.5 人

④ 能代ふれあいプラザ (サンピノ) 及び高齢者友愛センター

■ 能代ふれあいプラザ (集会交流室) の利用状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数	5,016 人	4,375 人	4,595 人

■ 高齢者友愛センターの利用状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数	7,178 人	7,695 人	7,835 人

⑤ 高齢者ふれあい交流施設 (ゆっちゃん) (ニツ井)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
利用者数	61,498 人	61,785 人	63,255 人

⑥ 生活支援ハウス (ニツ井)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実人数	11 人	11 人	9 人
延べ人数	71 人	88 人	88 人

⑦高齢者の住環境

■軽費老人ホームの整備状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開設施設数（累計）	1 施設	1 施設	1 施設
定員数（累計）	15 人	15 人	15 人

■有料老人ホームの整備状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開設施設数	0 施設	0 施設	0 施設
定員数	0 人	29 人	0 人
開設施設数（累計）	12 施設	12 施設	12 施設
定員数（累計）	179 人	208 人	208 人

■サービス付き高齢者向け住宅の整備状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開設施設数	1 施設	0 施設	1 施設
戸数	40 戸	0 戸	22 戸
開設施設数（累計）	10 施設	10 施設	11 施設
戸数（累計）	228 戸	228 戸	250 戸

※各事業とも年度末時点の実績

<IV、VIに関する資料>

(参考) 平成31、令和元年度介護保険事業費実績と第7期計画との比較

●介護予防サービス(予防給付)

(単位:円)

	計画	実績	比較(増減)	比較(率)
介護予防訪問入浴介護	0	427,617	427,617	-
介護予防訪問看護	11,808,000	12,120,942	312,942	102.7%
介護予防訪問リハビリテーション	0	809,570	809,570	-
介護予防居宅療養管理指導	0	753,808	753,808	-
介護予防通所リハビリテーション	11,854,000	11,365,341	△ 488,659	95.9%
介護予防短期入所生活介護	12,257,000	1,828,559	△ 10,428,441	14.9%
介護予防短期入所療養介護(老健)	0	142,578	142,578	-
介護予防短期入所療養介護(病院)	0	0	0	-
介護予防福祉用具貸与	8,334,000	9,737,577	1,403,577	116.8%
特定介護予防福祉用具販売	4,487,000	1,616,881	△ 2,870,119	36.0%
介護予防住宅改修費	13,334,000	4,195,557	△ 9,138,443	31.5%
介護予防特定施設入居者生活介護	9,943,000	10,684,114	741,114	107.5%
介護予防支援	21,208,000	10,778,070	△ 10,429,930	50.8%
介護予防サービス給付費計	93,225,000	64,460,614	△ 28,764,386	69.1%

●居宅サービス

(単位:円)

	計画	実績	比較(増減)	比較(率)
訪問介護	716,292,000	622,374,288	△ 93,917,712	86.9%
訪問入浴介護	31,275,000	24,857,859	△ 6,417,141	79.5%
訪問看護	117,661,000	79,204,815	△ 38,456,185	67.3%
訪問リハビリテーション	12,909,000	3,549,258	△ 9,359,742	27.5%
居宅療養管理指導	3,941,000	3,932,836	△ 8,164	99.8%
通所介護	855,232,000	707,050,421	△ 148,181,579	82.7%
通所リハビリテーション	56,809,000	70,779,386	13,970,386	124.6%
短期入所生活介護	1,249,936,000	1,320,748,148	70,812,148	105.7%
短期入所療養介護(老健)	719,000	2,160,964	1,441,964	300.6%
短期入所療養介護(病院)	0	0	0	-
福祉用具貸与	91,908,000	102,105,054	10,197,054	111.1%
特定福祉用具販売	5,156,000	5,070,393	△ 85,607	98.3%
住宅改修費	12,325,000	7,635,503	△ 4,689,497	62.0%
特定施設入居者生活介護	188,559,000	223,820,787	35,261,787	118.7%
居宅介護支援	322,105,000	338,194,718	16,089,718	105.0%
居宅サービス給付費計	3,664,827,000	3,511,484,430	△ 153,342,570	95.8%

●地域密着型介護予防サービス（予防給付）

(単位:円)

	計画	実績	比較(増減)	比較(率)
介護予防認知症対応型通所介護	416,000	92,826	△ 323,174	22.3%
介護予防小規模多機能型居宅介護	27,382,000	22,050,770	△ 5,331,230	80.5%
介護予防認知症対応型共同生活介護	0	4,553,982	4,553,982	-
地域密着型介護予防サービス給付費計	27,798,000	26,697,578	△ 1,100,422	96.0%

●地域密着型サービス

(単位:円)

	計画	実績	比較(増減)	比較(率)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	1,944,714	1,944,714	-
夜間対応型訪問介護	0	0	0	-
認知症対応型通所介護	49,771,000	25,458,381	△ 24,312,619	51.2%
小規模多機能型居宅介護	326,841,000	288,312,233	△ 38,528,767	88.2%
認知症対応型共同生活介護	658,128,000	644,885,171	△ 13,242,829	98.0%
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	-
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	169,396,000	168,801,345	△ 594,655	99.6%
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	-
地域密着型通所介護	186,396,000	146,768,781	△ 39,627,219	78.7%
地域密着型サービス給付費計	1,390,532,000	1,276,170,625	△ 114,361,375	91.8%

●施設サービス

(単位:円)

	計画	実績	比較(増減)	比較(率)
介護老人福祉施設	635,695,000	710,968,517	75,273,517	111.8%
介護老人保健施設	709,235,000	694,214,519	△ 15,020,481	97.9%
介護医療院	0	228,895,077	228,895,077	-
介護療養型医療施設	333,587,000	61,665,961	△ 271,921,039	18.5%
施設サービス給付費計	1,678,517,000	1,695,744,074	17,227,074	101.0%

能代市・地域包括支援センター

令和元年度事業実績

令和元年度能代市地域包括支援センター事業実績

場所： 4カ所（本庁地域・北地域・南地域・二ツ井地域）

開館： 月～土（日・祝・年末年始除く） ※時間外・夜間は電話転送対応

時間： 午前8時30分～午後5時15分

①介護予防ケアマネジメント事業（対象：総合事業サービス利用者）

	H29年度	H30年度	R1年度	うち	
				包括	委託
本庁地域	4,739	2,720	2,440	1,158	1,282
北地域		918	993	463	530
南地域		997	1,040	372	668
小計	4,739	4,635	4,473	1,993	2,480
二ツ井	860	873	802	399	403
合計	5,599	5,508	5,275	2,392	2,883

②総合相談支援事業

●相談方法（のべ件数）

（単位：件）

	電話			来所		
	H29年度	H30年度	R1年度	H29年度	H30年度	R1年度
本庁地域	1,478	880	1,577	1,034	292	254
北地域		294	1,023		88	142
南地域		333	1,123		65	81
小計	1,478	1,507	3,723	1,034	445	477
二ツ井	519	546	955	173	164	230
合計	1,997	2,053	4,678	1,207	609	707

（単位：件）

	訪問			合計					
	H29年度	H30年度	R1年度	H29年度	H30年度	R1年度			
本庁地域	877	690	1,023	3,389	1,862	2,854			
北地域		223	337				0	605	1,502
南地域		171	392				0	569	1,596
小計	877	1,084	1,752	3,389	3,036	5,952			
二ツ井	333	295	358	1,025	1,005	1,543			
合計	1,210	1,379	2,110	4,414	4,041	7,495			

●主な相談内容（のべ件数）

（単位：件）

	H29年度	H30年度	R1年度	うち			
				本庁地域	北地域	南地域	二ツ井地域
介護相談	1,943	2,086	3,764	1,526	295	757	1,186
施設相談	308	213	346	137	47	100	62
医療・健康	550	367	778	203	67	452	56
高齢者福祉	510	258	556	175	10	357	14
情報収集・提供	1,019	1,079	2,896	582	1,111	1,015	188
身体障がい関係	42	7	74	2	6	61	5
虐待関係	127	95	89	41	0	26	22
権利擁護関係	97	116	487	60	65	233	129
その他	287	184	791	185	444	111	51
合計	4,883	4,405	9,781	2,911	2,045	3,112	1,713

③権利擁護事業

●主な相談内容（のべ件数）※再掲

	H29年度	H30年度	R1年度				
				本庁地域	北地域	南地域	二ツ井地域
虐待関係	127	95	89	41	0	26	22
権利擁護関係	97	116	487	60	65	233	129
合計	224	211	576	101	65	259	151

●虐待に関する相談（実人員）

※包括支援センター及び長寿いきがい課

	H29年度	H30年度	R1年度
「虐待の疑い」通報件数	18	24	18
「虐待」認定件数	5	11	7

●成年後見制度

※市長申立は長寿いきがい課で担当

	H29年度	H30年度	R1年度
相談件数	7	13	11
市長申立件数	2	2	2

④包括的・継続的マネジメント事業（ケアマネジャー支援及び地域連携）

	ケアプランチェック（件数）			ケアマネ研修会（回数）				
	H29年度	H30年度	R1年度	H29年度	H30年度	R1年度	参加者数	
本庁地域	911	404	436	1	1	1	52	
北地域		134	195		1	1	1	72
南地域		149	160		1	1	1	69
小計	911	687	791	1	3	3	193	
二ツ井	67	45	76	1	1	1	94	
合計	978	732	867	2	4	4	287	

⑤介護予防サービス計画作成（対象：要支援）

	H29年度	H30年度	R1年度		
				うち包括	うち委託
本庁地域	1,883	1,037	1,035	337	698
北地域		412	409	93	316
南地域		538	584	110	474
小計	1,883	1,987	2,028	540	1,488
二ツ井	447	419	391	120	271
合計	2,330	2,406	2,419	660	1,759

⑥介護予防教室事業

一般教室 (認知症予防含)	H29年度	H30年度	R1年度	本庁地域	北地域	南地域	二ツ井地域
				回数	85	206	251
のべ参加者	1,855	4,201	4,326	1,134	1,195	453	1,544

通所型 (通所C)	H29年度	H30年度	R1年度	本庁地域	北地域	南地域	二ツ井地域
				回数	71	141	129
のべ参加者	882	995	865	390	183	253	39

⑦家族介護支援事業

※上段：回数 下段：のべ参加者数

	H29年度	H30年度	R1年度	本庁地域	北地域	南地域	二ツ井地域
				家族介護教室・懇談会	14	40	36
	307	189	160	49	22	8	81
家族介護者交流事業	2	1	1	0	0	0	1
	60	25	24	0	0	0	24

⑧学生実習受け入れ

※いずれもしらかみ看護学院実習生。包括支援センター受入分のみ掲載

	H29年度	H30年度	R1年度	本庁地域	北地域	南地域	二ツ井地域
				日数	14	14	14
人数	84	76	74	0	74	0	0

能代包括のみ 北包括のみ

【地域ケア個別会議】

【主催】地域包括支援センター

【目的】地域の多様な関係者が協働し、介護支援専門員のケアマネジメント支援を通じて、介護等が必要な高齢者の住み慣れた地域での生活を地域全体で支援していく。また、地域ケア会議は個別ケースを検討する会議から地域課題の解決を検討する場まで一体的に取り組んでいく。

【参加対象】医療・介護等の専門職、民生委員、自治会長、NPO法人、社会福祉法人、ボランティア等地域の多様な関係者

	H29年度	H30年度	R1年度	本庁地域	北地域	南地域	二ツ井地域
				回数	10	8	13

【在宅医療・介護連携推進事業】

2025年を目処に、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援を行う。

	事業内容	H30年度	R1年度
ア	地域の医療・介護の資源の把握	・能代市内全居宅介護支援事業所へ医療ガイド配布	/能代市内全居宅介護支援事業所へ医療ガイド配布
イ	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	・ワーキンググループ開催(3回)	・ワーキンググループ開催(2回)
ウ	切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	・5病院医療連携室相談会議(1回)	・5病院医療連携室相談会議(1回) ・能代山本医療・介護・福祉連携促進協議会開催(1回、事務局担当)
エ	医療・介護関係者の情報共有の支援	介護予防手帳の利用開始	・入院時情報提供書の作成 ・ナラティブブック説明会開催支援(医師会主催)
オ	在宅医療・介護連携に関する相談支援	・介護支援専門員研修会にて窓口の周知	・医療・介護連携支援センター設置及び介護支援専門員研修会での周知【相談実績：12件】
カ	医療・介護関係者の研修	各包括でのケアマネ研修会(4回)	各包括でのケアマネ研修会(4回) ・介護サービス事業者懇談会講師(1回) ・多職種による事例検討会(ケア・メイト)の支援(3回)
キ	地域住民への普及啓発	・シンポジウム開催(1回)	・ナラティブブック説明会開催支援(医師会主催)
ク	関係市区町村との連携	・ワーキンググループ開催(4回)	・能代山本医療・介護・福祉連携促進協議会各市町事務局会議

【認知症施策の推進】

(ア) 認知症初期集中支援推進事業

○認知症初期集中支援チームの設置

認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。

	H29年度	H30年度	R1年度
チーム対象者	3人	31人	19人
チーム員会議	3回	10回	12回
検討委員会		1回	1回

(イ) 認知症に関する正しい知識の普及啓発

○認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者（認知症サポーター）の養成を進め、地域や職域など様々な場面で活躍できるような取り組みを推進する。

	H29年度	H30年度	R1年度
サポーター数	417人	354人	992人
開催回数	20回	25回	29回

※H30年は9月～定期開催開始（奇数月）

※H21年～実施 累計340回 7,114人

(ウ) 認知症高齢者と家族を支える見守り支援体制の整備

○認知症カフェの開催

認知症の方を支える取り組みやつながりを支援し、認知症の方の家族の負担軽減を図るため、認知症の方とその家族、地域住民、専門職が集う「認知症カフェ」を開催する。

	H29年度	H30年度	R1年度
開催回数	12回	8回	11回
参加者数	223人	173人	202人

※H30年は8月～開始（1回／月）

※R2年3月は中止（コロナ感染予防）

○認知症家族会の開催

在宅で認知症の方を介護している家族が、介護者同士の交流を通じてお互いの悩みや不安を分かち合い、また、正しい認知症ケアを理解することで、認知症介護の負担感を軽減することを目的とする。

	H29年度	H30年度	R1年度
開催回数		7回	11回
参加者数	※H30～実施	17人	33人

※R2年3月は中止（コロナ感染予防）

【生活支援体制整備事業】

高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体による重層的な生活支援サービスの提供体制の構築を支援する。

	30年度	R1年度
事業内容	・生活支援体制についての説明や、困りごとの把握（一般市民・介護予防教室参加者等、22回・523人）	・生活支援体制についての説明や、困りごとの把握（自治会等、4回・34人） ・生活支援体制整備事業推進協議会開催（委員15名）

能代市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定 スケジュール（案）について

1 策定の趣旨

老人福祉法第20条の8に規定する市町村老人福祉計画及び介護保険法第117条に規定する市町村介護保険事業計画として、令和3年度から5年度までの「能代市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」を、今年度において策定する。

策定にあたっては、国の制度改定等の動向のほか、高齢者を取り巻く環境や、心身の状況、能代市活力ある高齢化推進委員会のご意見等を踏まえ、より地域の実態に即した計画を策定する。

2 策定のスケジュール

令和2年 6月	日常生活圏域ニーズ調査実施
令和2年 7月	○第1回活力ある高齢化推進委員会
	第7期実施事業の進捗状況について
	計画策定の趣旨とスケジュールについて
令和2年 9月	○第2回活力ある高齢化推進委員会
	計画策定における国の動向について
	計画の骨子案について
令和2年11月	○第3回活力ある高齢化推進委員会
	課題の整理について（各種調査結果等から）
令和2年12月	○第4回活力ある高齢化推進委員会
	計画の素案について
	サービス見込み量及び介護保険料について
令和3年 1月	パブリックコメントの実施
令和3年 2月	○第5回活力ある高齢化推進委員会
	計画案策定
令和3年 3月	計画策定、関係予算計上・条例改正